

## 校長だより 小山分校「笙陵祭」終わる

小山分校では、小山高等学校と共催の「笙陵祭」を6月6日(土)と7日(日)に開催しました。「今日、好きになりました」のテーマのもと、開校3年目の分校は1、2、3年生の全学年がそろい、発表や活動の場もパワーアップしました。

1日目の文化の部では、小山高校が各種発表をする中、分校1年生もステージ発表をしました。「キセキとともに」のテーマのもと、自分たちで考えたダンスを軽快な音楽に合わせて披露することができました。校内では3年生がストラックアウト、2年生が輪投げのゲームブースの運営をし、最初はお客さんに説明するのに緊張していましたが、繰り返すことでとてもスムーズになりました。校舎外では、作業製品として革製品と縫製で作った巾着袋を販売しました。午後に販売する予定だった物も午前中に出すほど盛況でした。岳麓新聞の取材もありました。



笙陵祭2日目は体育の部でした。途中雨が降って中断したり、競技を減らしたりすることもありましたが、分校生は赤(3年生)、青(2年生)、黄(1年生)のTシャツを着て、小山高校生と一緒に大旋風(竹の棒を3~4人で運ぶリレー)、長縄、玉入れ、大玉転がしに出場したり、代表選手は100m走や色別対抗リレーに出場したりしました(分校の教員も小山高教員との合同チームでリレーに参戦)。色別応援で分校はフラッグの演技を披露。嵐の曲「Five」に合わせて全員が息を合わせ、隊形移動もある見応えのある演技でした。

小山高校の企画に分校が積極的に参加することができ、年々活動の場が広がっていることが大変嬉しく思いました。両高校生の発想、頑張る姿、協力する姿やお互いが歩み寄る場面もたくさん見られ、共生・共育が着実に進んでいる印象を受けました。

笙陵祭に多くの御支援と応援をいただきまして、ありがとうございました。